

つるし雛展

名古屋マリオットアソシアホテルに行くと、15階ロビーで大治町文化協会「雅の会」による「つるし雛展」が開催されていた。色鮮やかな「つるし雛」飾りを愛用の iPad で写真に収めた。

愛知県大治町は名古屋市の西隣に位置する町である。町ホームページ「トピックス」に次のように紹介されていた。

初節句を迎える娘の健やかな成長と良縁を願って手作りされ、縫われた「雛のつるし飾り」は、それぞれに言い伝えと願いがこめられています。願う事柄が具体的な形となって飾られるところに特徴があります。

母から娘へ、娘から孫へ。幾種もの人形たちに、ひとつひとつ想いを込め子どもたちの幸せを願います。大治町文化協会「雅の会」は、平成19年度から、このつるし飾りを製作し、「つるし雛展」を開催しています。「雅の会」の方々は、大治町が[第4のつるし飾りのまち]と呼ばれるようになることを目指して、日々製作に励んでいます。

日本の三大つるし飾りは静岡県東伊豆町稲取「雛のつるし飾り」、福岡県柳川市「さげもん」、山形県酒田市「傘福」という。

このなかで行ったことがあるのは、柳川と酒田である。ずいぶん前のことだが、歴史と景観とまちづくりに引かれて訪ねた。柳川は北原白秋の生地で水郷としても名高く、「掘割再生」の物語は感動的である。酒田は米どころ庄内のシンボルである山居倉庫、土門拳美術館などが思い出に残る。たまたま「つるし雛展」を見て、柳川と酒田が「三大つるし飾り」の地であるところを知った。レポートを書きながら、久しぶりに昔の旅の思い出にひたることができた。



(2015年2月9日)